

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSではビクシーナイトがG I 初制覇

10月3日(日)に行われたスプリンターズS(G I)ではビクシーナイト(牡3歳/栗東・音無秀孝厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。キャリア8戦目の勝利で、これは1997年のタイキシャトルと並ぶスプリンターズS優勝の最少キャリアタイ記録となります。

●藤岡佑介騎手がJRA通算900勝を達成

10月2日(土)の5回中京8日・第5レースではヴェールランスが1着となり、同馬に騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上50人目、現役では26人目となるJRA通算900勝(1万474戦目)を達成しました。

●浜中俊騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

10月3日(日)に行われたスプリンターズS(G I)でジャンダルムに騎乗した浜中俊騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上46人目、現役では31人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●加用正調教師がJRA通算600勝を達成

10月3日(日)の5回中京9日・第11レースとして行われたポートアイランドS(L)では、プリンスリターンが1着となり、同馬を管理する加用正調教師(栗東)は、史上99人目、現役では17人目となるJRA通算600勝(延べ6933頭目)を達成しました。

●パッシングスルーの競走馬登録抹消

2019年紫苑S(G III)の勝ち馬パッシングスルー(牝5歳/美浦・黒岩陽一厩舎)は、10月6日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績11戦3勝・地方2戦0勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サクセスエナジーが東京盃(大井)で6度目の重賞制覇

東京盃(Jpn II、10月6日、大井、1200^米)は、3番手から直線に入って間もなく先頭に立った7番人気のサクセスエナジー(松山弘平騎手、牡7歳、父キンシャサノキセキ)が、内から迫る1番人気のリュウノユキナを $\frac{3}{4}$ 馬身差で退けました。2番人気のレッドルゼルが3着、3番人気のコパノキッキングは4着、サイクロトロンは7着でした。

●レディスプレリウド(大井)でレーヌブランシュが重賞2勝目

レディスプレリウド(Jpn II、10月7日、大井、1800^米)は、2番手追走から4コーナー手前で抜け出した3番人気のレーヌブランシュ(松山弘平騎手、牝4歳、父クロフネ)が、1番人気のテオレマに2馬身半差を付けて完勝。2番人気のウエルドーンが3着に入り、ダイアナブライトは4着、逃げたクリスティは6着に敗れています。

●10月11日の南部杯(盛岡)に連覇を狙うアルクトスら強豪が集結

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、10月11日、盛岡、1600^米)は、昨年の覇者アルクトスが中心、以下エアスピネル、ソリストサンダー、サンライズノヴァ、ワイドファラオ、インティ、ヒロシゲゴールドの順に有力視されます。

●ヒストリックノヴァらが出走、10月14日のエーデルワイス賞

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、10月14日、門別、1200^米)は、JRA所属馬はヒストリックノヴァ、ブッシュガーデン、ナックドロップス、ヒノクニという序列ですが、地元のレディーアーサー、スピーディキック、レディオスターらが強敵となりそうです。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1凱旋門賞～ドイツのトルカータータツが制す

今年で100回目を迎えたG1凱旋門賞(3歳上牡牝、芝2400^米)が10月3日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われました。勝ったのは中団でレースを進めたドイツからの遠征馬トルカータータツ(牡4歳、父アドラーフルーク)。現地のオッズで単勝72.5倍(JRAでは110.5倍)という人気薄でしたが、直線で外から素晴らしい末脚を繰り出して、栄光を手に入れました。昨年のG1ブリーダーズCターフの勝ち馬でアイルランドから参戦のタルナワが $\frac{3}{4}$ 馬身差の2着。そこから短アタマ差の3着にG1英セントレジャーの勝ち馬で、1番人気に推されたイギリスのハリケーンレーン。日本から遠征したクロノジェネシスとディーブポンドはそれぞれ7着、14着に終わりました。勝ったトルカータータツは昨年10月のG1ベルリン大賞(芝2400^米)でG1初制覇。その後、今年9月の前走G1バーデン大賞(芝2400^米)で2つ目のG1タイトルを手にして、ここに臨んでいました。鞍上のR.ピーヒュレク騎手、管理するM.ヴァイス調教師はともに初制覇です。なお、この日のパリロンシャン競馬場では他に2頭の日本調教馬も出走し、G1フォレ賞(3歳上、芝1400^米)でエントシャイデンが3着、G1オペラ賞(3歳上牝、芝2000^米)でイカットが13着でした。